

幸せで実り多い人生のために ブログでの発信は有用です



▶ Profile

さかきばら セツコ 東京都生まれ。米国マウント・ホリヨーク大学を経て、国際基督教大学卒業後、国際会議同時通訳者に。大手証券会社にて医薬品・バイオ企業間の企業買収等に携わり、1991年、アルベロサクロ株式会社設立。国際的視野に立ったファイナンシャルアドバイザーとしてヘッジファンド、資産継承、金銭教育等をテーマに活動中。『セレブのルール』など著書多数。http://www2.odn.ne.jp/sakakibara/

アルベロサクロ株式会社

社長 柳原 節子

♪必要なのは価値観の継承

ファイナンシャルアドバイザーという私の専門に照らしても、ブログは今後、重要なメディアになっていくと考えています。

世界共通の傾向として、財を成した人の次の世代で元の財産の六五%が浪費などで毀損され、三代目になると九〇%が毀損されると

ぬ方からコメントを頂戴して「ああ、こういう考え方の人もいるんだ」と参考になることも多かった。そんなふうに深い話ができる、やりとりも生まれるのがブログのよいところです。

昨年の初頭からブログを始めていた記事を書いたとき、見知らぬ方からコメントを頂戴して「ああ、こういう考え方の人もいるんだ」と参考になることも多かった。そんなふうに深い話ができる、やりとりも生まれるのがブログのよいところです。

直接会えない人や普段、なかなか話ができない人に自分の思いを伝えるうえで、ブログは非常に有効なツールだと思います。経営者なら、取引先やお客様、社員に対して自分の思いを伝えるためにも、ぜひとも活用すべきです。

ブログには考えを深め、整理する効果もあります。日常の会話では話題にしにくい哲学的なことや、眞面目で「深い」話もブログでならできるからです。私自身、ますが、たとえば「死」をテーマにした記事を書いたとき、見知らぬ方からコメントを頂戴して「あ

いわれています。これは価値観が伝わっていないため、それが伝わっていないと、不思議とお金も伝わりません。経営でも同様で、とにかく創業者は多忙なため、子供とのコミュニケーションが不足し、自分の思いや価値観が伝わりにくく。それが二代目が会社を傾けることが多い理由の一つだと思います。その点で、考え方や価値観が記録として残り、貯めておけるブログは非常に有用だと思います。

私はいま、ワーカーライフバランスを仕事上の重要なテーマと位置づけており、年を経てそのバランスはどう変えていくかが、今後、人々が幸せな人生を送るうえで重要なと考えています。その点においても、ブログをはじめとする個人としての情報発信がカギを握ると思っています。

それは決して哀しいことではなく、本人次第で「いまが一番幸せ」な人生を送れる時代が来るということなのだと私は思います。私自身、素敵に年を重ねて仕事をしていきたい。そんな自分のこと、周囲とのコミュニケーションもブログで綴っていくと思います。

経営者会報「アルベロサクロ」は、経営者自らが自ら発信する「読者連動型ブログ」

アルベロサクロ株式会社 代表取締役 柳原 節子

アルベロサクロ株式会社 代表取締役 柳原 節子の日記です。

このカテゴリー内の「他の記事へ」他の記事へ

2008年06月12日(木) 更新

動物のお医者さん

山形県鶴岡市は多分日本一の大病院「二水病院」の院長である。先生は河原がついていたが、河原が「おまえがやったんだ」と云ったとき、「自分は犬や猫を助けたときに生じた」と決意したそうだ。今と違って犬猫でビジネスにならないといさせていた時代であった。

私は飼育2名、子孫2名、井澤系、吉澤系、貴賀系などの専門性スタッフを有し、来院からリミングルームまで完備している。貴賀はひく園の研究部さんとともに作った医療がある。でも、一番美味しいのが先生の人柄と動物愛い上手なところだ。

タケ原の一種のタケノコアキノニア。タケノコでガラリとしたのが、色々な動物に喜んでくれている様がなんとも見えなかった。タケの切り口が悪ければ必ず落としてしまったのだが、先生に「タケノコ」と教わるまでは、タケの切り口を気にかけらなかったが、やはり安心になってしまった。まさに先生の良い上手なところである。

肉は絶対的。タケノコアキノニア、タケノコでガラリとしたのが、色々な動物に喜んでくれている様がなんとも見えなかった。タケの切り口が悪ければ必ず落としてしまったのだが、先生に「タケノコ」と教わるまでは、タケの切り口を気にかけらなかったが、やはり安心になってしまった。まさに先生の良い上手なところである。

柳原社長のブログ http://sakakibara.keikai.tohpblog.jp/